

# もりの手紙

mo ri no te ga mi

森にいこうよ!  
もりメイト倶楽部  
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

fax. 082-221-1080

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com

3  
弥生

NO 284 / 2021

コロナ禍の中、  
大切な命を守り、  
出来る時に  
出来る事を!

## contents

- ★例会案内：大竹松が原  
「キッズフィールド整備」  
3月28日(日)：《担当2班》  
..... 2
- ★例会報告：地域貢献例会  
「黄金山ふれあい樹林の整備」  
：5班・秋武  
..... 3
- ★2月部会報告 里山：岩田  
クラブ部会：本廣  
..... 4
- ★ワークショップのお知らせ  
「ロケットストーブを作ろう」  
報告：環境教育に参加して  
：佐々木  
..... 5
- ★TEAM 森づくり報告：山本  
樹木いきいき講座：藤原  
..... 6
- ★「この人あり」：米田  
今月のひと枝・・・ジャノヒゲ  
..... 7
- ★3月・各部の活動予定  
・書き損じハガキ切手のご協力を  
..... 8



簡易製材機で製材中の松岡さん&見守る竹原さん（白木町小川フィールド：里山部会にて）

## 私たちも 森づくりを応援しています。

- ◆中外工業株式会社
- ◆あいおいニッセイ同和損保株式会社
- ◆こだまクリニック
- ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社ニシナ屋珈琲
- ◆イオングループ
- ◆株式会社東和テクノロジー
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり

《毎年のご支援 誠にありがとうございます。協賛企業：順不同：敬称略》

もりメイト倶楽部  
HIROSHIMA

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

### 『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり** 健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く** 森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森を楽しみ森を味わう** 人と森との関わりを拡げます。
- 森から学び森を伝える** 森の恵みを活かし利用する活動。

### 例会

倶楽部のメイン行事（原則第4日曜日）  
地域と共に、活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は 1997 年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています！

全国林業普及協会会長賞、広島ユネスコ活動奨励賞、広島県知事賞、広島市「ひろしま街づくりデザイン賞」その他受賞歴多数。

案内



## 3月地域貢献プロジェクト例会

もりメイトキッズフィールド整備《担当：2班》

～子ども達が安全に楽しく活動できるように！



◆日 時： 3月28日（第4日曜）9時～少雨決行

◆集合場所： 大竹市松が原キッズBフィールド

※駐車スペースはAフィールドになります。駐車可能台数に限りがあります。できるだけ乗り合わせて集合してください。

◆持参物： 山の道具・弁当・水筒

※温かな豚汁を用意します。食器をご持参下さい。

※準備出る方は電動ドライバー、ドリル、ディスクグラインダー  
をご持参下さい

※マスクも忘れずに！



◆申込み： 3月22日（月）までに各班長へ連絡。

※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は  
事務局へ電話かメールでご連絡下さい

090-6419-7531 : [info@morimate-ch.com](mailto:info@morimate-ch.com)



毎年、子ども達の環境教育の一環として『もりメイトキッズ（子ども森林ボランティア養成講座）』を開催しています。2007年からスタートし、今年度は15回を迎えます。年に4回実施していますが、昨年は新型コロナの影響で2度の開催にとどまりました。目下、次年度に向けて新しい企画を準備しています。この度の例会では、ブランコなどの遊具の点検や手直し、ヒュッテの製作など、自然の中で安心してのびのび楽しく過ごせるフィールドを再整備します。ご協力よろしくお願いします。



4月例会は、第4日曜(25日)、新入会員の歓迎も含め、「Welcome例会」を企画しています。倶楽部の皆さんはもちろん、新入会員の皆さん、カレンダーに日付のチェックを！詳細は次号にてご案内いたします。



この度の会場は、平成19年から仕事で4年間を過ごした地域であること、また平成28年頃、里山整備士6期生の下村さんと二人で里山整備士として初めて活動した場所であり、私にとっては大変懐かしい思い出深い場所でありました。

何時もより早めに到着。受付、体温測定を5班メンバーが協力して行い、8時30分頃には資機材等の準備を終える事が出来ました。

開会式で山本理事長、マツダロジスティクス株式会社社長の升本様のご挨拶を頂いた後、スケジュールに沿って班編成及び作業内容を確認しラジオ体操。その後、各班に分かれて現場へ向かい、午前の作業に入りました。急峻で足元が悪いにも関わらずメンバーで協力した作業で、午前中は11時45分事故なく無事に作業終了。昼食は、麓に降りる人もなく、殆どの方が竹林の中で食べる姿は今の言葉で言うと、とても「映えていました。」しかしながら、休憩中、斜面上部にいた人が枯れた竹がひっかかっているのを見つけ、午後からの作業時には危ないだろうと判断し、処理作業をした際、予想以上に竹が下方まで滑り落ちてしまい、最下方で休憩した人が指を切る軽度な怪我をしました。午後からの作業に対しては作業メンバーへ周知して安全に作業をするようにしました。12時45分から午後の部の作業に入り、通常より早めに活動を終了し反省会を実施。各班からの振り返りを行いました。



- ① 右上竹林が整備場所。うららかな春の山。みんなでも登りました。
- ② 古い竹から伐ります。新入会員で初参加の富士井さん。
- ③ 竹林整備真っ最中。丁寧に！
- ④ 司会デビュー 藤原康祐さん。
- ⑤ 「真しく！」新入会員の紹介。
- ⑥ ラジオ体操。
- ⑦ 協力して安全に竹を伐ります。
- ⑧ 折った竹の枝は根元を揃えて棚積み。

昼休憩のトラブルについては関係者から説明報告があり、安全管理の重要性を再認識する事が強調されました。本日の例会初参加の坂田さんからは、『活動が温かい雰囲気の中で行われたので良かった』との感想を頂き、また、マツダロジスティクス株式会社総務のマネージャー中常様からは危険作業を伴う活動においては、「安全だろう、大丈夫だろう」、ではなく「危険予知」をしながら作業する事が重要。とのご意見を頂きました。“もりメイト倶楽部 Hiroshima”のメンバーも今後とも安全を求めて研鑽していきます。よろしくお願ひします。





今年初の里山部会。みんなで記念写真を撮りました。

1月の里山部会は、降雪のため止む無く中止となりましたが、それでも雪の中6名が集まりました。

2021年最初の里山部会は17名でスタート!!初仕事は修理が終わったチェーンソーの試運転。その後、11月に『スクウスクウの森』<sup>あづまや</sup>四阿完成後の反省会にて、<sup>あづまや</sup>四阿に看板を設置したいとの

話が出ていたので製材をしました。後日、クラフト部会で仕上げ、スクウスクウの森に運ぶ予定です。

また、黄金山で使用予定の竹用チェーンソーの試運転と調整、倉庫の周りの環境整備を行いました。急きょ、妙國寺のご住職から、「檀家さんが使わなくなった薪を妙國寺に寄付をする」という話があったので、その手伝いに3名が同行しました。昼食は、具沢山のお汁、焼き鳥、ノンアルコールビールで乾杯。食後のコーヒーも付き豪華版。当日はバレンタインデーということで、中村さんからチョコレートもいただき、ソーシャルディスタンスを取りつつ“黙食”でいただきました。午後も引き続きの作業を行い、久しぶりに集合写真を撮り、ヒヤリハットもなく終礼をして15時に終了しました。次回は、3月14日に小川フィールドでチェーンソー製材、椎茸の菌打ちを行います。インパクトドライバー等あればお持ちください。竹炭の製作の準備もする予定です。



梅の花が咲き肌に吹き付ける風も暖くなりました。春が近づいています。

今月6日(土)は、湯来町でリョウブを切り出し鹿ヶ谷まで運搬しました。帰りに湯来町麦谷の製材機を試運転。山田(政)さんに特注でお願いしていた丸太固定金具をセットして製材開始です。押さえ箇所が2か所に増えて材の安定度は向上しましたが、丸太の大きさや形状が様々なので水平断面が少し波打ちします。今後の課題です。13日(土)、麦谷にて松が原テラスハウス(仮称)の制作に向けて梁材の製材をしました。3メートル材4本を作り持ち帰りましたが1本1本が重く運搬に苦労しました。

20日(土)は、鹿ヶ谷にて梁材の表面仕上げ加工です。電動手押しカンナで粗掛けした後、プレーナーで表面を削ります、5本も行くと削りカスが大量に出ます。

この日は「もりメイト育成講座」受講生である高杉さん、佐々木環研部会長もプレーナー加工に参加し、皆さんと一緒に汗を流しました。お疲れさまでした。今月の参加者26人。



丸太の製材(竹原、磯貝、佐藤、末本、松岡)



プレーナー加工(磯貝、佐々木、末本、高杉)



## 広島県環境学習講師専門研修を受講して

環境研究部会・部会長：佐々木綾子

昨年の11月に3日間にわたり開催された、【環境パートナーひろしま】主催の「広島県環境学習講師専門研修」を倶楽部員の中村訓子さんと受講しました。県内で環境学習を実践する方を対象に、専門的知識や技能を更新・習得し、即戦力として活躍できることを目的とする事業です。ワークショップやフィールドワークによる実践交流等を通じて、参加者が日々の経験の中で感じている疑問点や問題点を洗い出し、どうすれば解決できるかなど、普段は相談するのが難しい事などについても交流を深める事ができました。その中で話合えた経験は、今後の「もりメイトキッズ」の活動の心強い後押しとなりました。



フィールドワークで実践を学ぶ



座学の講師は環境教育の第一人者志賀先生。



持続可能な開発目標・SDGsを学習



「環境学習指導者」の研修を受けてみませんか？とお話を受けた時、全く予備知識がなく「無駄な買い物をしないようにしましょう。」とか「食品ロスを減らしましょう」といった内容を深く掘り下げて学ぶのだと思っていました。しかし、研修は環境教育に携わるための実践的な研修でした。私にとっては初めての体験、とても新鮮でした。いろんな方と出会い、話を交わしたり体験を伺ったりする中で、環境教育について認識を新たに培う良き学びとなりました。《中村訓子：5班》



## ロケットストーブを作ろう！

= ワークショップのご案内 =

ロケットストーブとは、ロケットのゴー！と勢いよく火が燃えるストーブのことを言います。少ない燃料で高い火力を生み出すことができる燃焼効率の高いストーブです。災害時はもちろん、日常でも使い勝手が良く色々なシーンで使うことができる安価で役に立つストーブ。アウトドアグッズ、防災グッズ、調理グッズなどアイデア一つで使い方は無限。今ひそかなブームになっているロケットストーブと一緒に作ってみませんか？

- ・日時：5月16日（日曜日）
- ・場所：大竹市松が原キッズフィールド
- ・講師：北田正仁（2班）
- ・参加費：3000円程度

※参加希望の方は佐々木までメールにて連絡をお願いします。

メールアドレス：mamakin0404@yahoo.co.jp

【主催：環境教育研究部会】



ペール缶を使用して作ります。目下収集中

# 桜を愛で平和を願う ~TEAM 森づくり 2020~ 最終回 報告

理事長 山本恵由美



1月号で紹介した「ひろしま森づくり事業：TEAM 森づくり」は普段、森林とは関わりの無い県民に対して、森林整備の体験を通して森づくり意識を高めてもらおうというもの。今年は森林公園を舞台に、広島の名所の開発を目的として荒れた森林の除伐を年内に実施し、2月14日にコロナで中断した最終回を人数と時間を制限して、桜の植樹活動を再開しました。

選んだ品種は花色が濃い2種。麓あたりには「平和を祈念」して作られた『陽光』3.5mと頂上の矢倉門付近には『大山桜』3mの大型各2本ずつ計4本。

まず、植樹に支障のコナラの大木（ナラ枯れ）を伐採するため、見勢井、本廣、富田、秋武（敬称略）の講師陣によりチルホール等の準備から始まり、伐採の見学をるところから。そして早速、植樹活動へ。苗が今年開花を見込める大型で重量もあり、参加者は運搬から硬い地面と岩との格闘で、道具を変えながら約1mの大きな穴を掘り進める作業は時間がかかり、上記講師陣の技術と指導力をもって、午前中に2本を植え終るのが精一杯でした。午後、有志協力で植樹は完了。私たちの活動の目的は良い社会にしたいから。それには平和が最重要。未来も続くよう祈りながら桜を見守っていきます。

## 平和のシンボル 陽光桜

『陽光桜』は天城吉野（アマギヨシノ）と寒緋桜（カンヒザクラ）

との交配によって作られた園芸品種です。元教師の高岡正明さんが、非戦の誓いを桜に託し25年もの年月をかけて開発しました。戦地に見送った教え子たちを悼み弔うために、私財を投げ打って、戦死した地域であろうシベリアから東南アジアまで地域を選ばず、どこにでも咲くことができる丈夫な桜を目指し、ようやく創り上げたのが『陽光桜』なのです。



## 樹木いきいき講座 <その7> 3班 藤原満男

田んぼや畑を持つ人は、冬が終わるまでに周辺整備を行います。石垣の補修、水漏れ対策や排水、日陰をつくる樹の伐採（陰切り）などです。

庭も同じように植え替えなど土木工事が主ですが、春の芽吹き前までにやり残した樹や大きくなり過ぎた樹の剪定をします。

私は2月下旬になってからブドウ・フジ・キウイ・ウメ・ナシ・オリーブ・ブルーベリーを剪定しました。3月にクルミ（実生苗）・ユスラウメ・レンギョウ・ムクゲ（挿し木苗）を植える予定です。

因みにブドウ・キウイなどのツル性の樹を、形を整える為に誘引するのは枝が柔らかくなる3月中旬です。

また、梅の剪定で垂直に伸びる徒長枝は、小指大以上はつけ根から除去し、小指大より細いものは2~3芽残します。残し方は、一番上の芽が内芽（上向き芽）だと新しく伸びる枝が幹側に伸びて混み合うようになるので、外芽（下向き芽）の3ミリほど上で切ります。垂直であれば幹から放射状に伸びるような芽の上で切ります。徒長枝を放置すると、徒長枝に養分などが集中してしまい、繁茂して近くの日陰になった枝を枯らしたり、樹形を乱して収穫が難しくなります。果樹の場合も、剪定し易くする為と同時に収穫がし易いように工夫します。





相変わらずポチポチの参加ですが、細く長く  
よろしくお願いします。

コロナ禍の渦中での例会では、朝の受け付けにてオデコでピッと検温担当。米田さんがいて下さると、みんな安心して元気とやる気が湧いてきます。

もりメイト育成講座は 19 期生。応募の動機は『父からの影響と、猫の額ほどの山があるので、放置すると迷惑になってはいけないと思い、山の事を知ろうと思いました。』

圭子さんのお父さまは、以前、森林インストラクターとして活躍され、自然や林業関連に携わるプロフェッショナルの西垣義憲さん。残念ながら他界されましたが、山本理事長からも、『かつてお父さまの講義を受けて学び、ずい分お世話になりました』と聞いた。

写真は、今年 2 月の恵下山例会の時撮ったもの。この日はちょうどお父さまの月忌がつきに当たられていたようですが、『こちらで山の作業をする方が、父の供養になります』と、形見のノコを手に、にこやかに話して下さった。

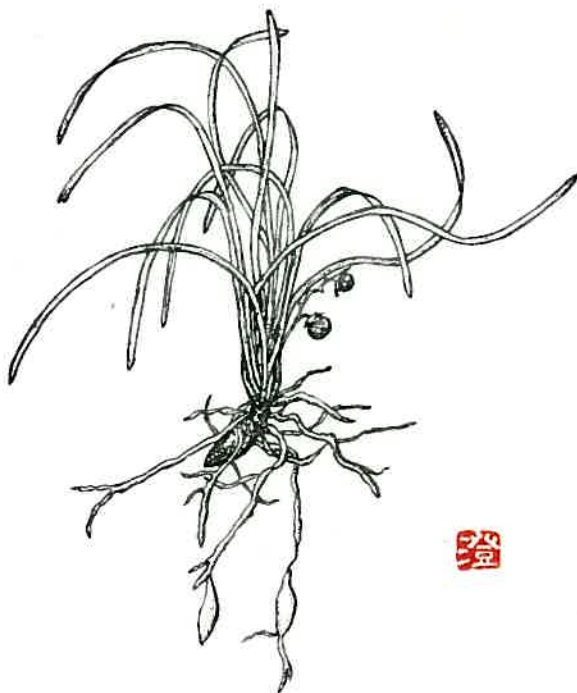
**森の中でのエピソード。** 『初めて木を切り倒した時、一瞬で汗が吹き出す達成感と、命をいただく事に畏怖した感覚を忘れてはいけないなと思っています。』

**活動に関して感じた事は？** 『女性、男性、年齢を超えて、お互いが足りないところを気付き合い、補い合い、話し合い、助け合う。これからも、そんな支え合う“もりメイトチーム”であればいいかな。』

**趣味などお聞かせください。** 『暇な時は サブスクで映画を見たり、音楽を聴いたり、インテリアをあちこちじったり。ウォーキングを週に 2~3 回 5km 程度。あつ、最近ひっそり 1 人ヨガも始めました。』

**チャレンジャーとして？** 『クラフトをやりたいと思うものの、今のところ片思いです。』

今朝のひと枝 原田 澄



ジャノヒゲ (蛇の髭)

<キジカクシ科(旧ユリ科)・ジャノヒゲ属>

別名リュウノヒゲ。北海道~九州の山野の林内に自生する常緑の多年草。葉は細く、長さ 10~30 ㎝、幅は 2~3 ミリで、匍匐枝を出し群生する。夏、淡紫色又は白色の小花を下向きに咲かせ、冬に実を結ぶ。実は果皮が薄いため成長途中で剥がれ落ち、種子が露出したまま成熟する。約 7 ミリの美しい瑠璃色の実は種子そのもの。根がしっかりと張り日陰でもよく育ち、強健で育てやすいので小道の境界やグランドカバーに利用される。また、根の紡錘形にふくらんだ部分を「麦門冬」と呼び、漢方薬に用いる。和名は細長い葉の姿に由来。...▼春一番のマンサクが咲き、梅がほころび、フキノトウも我先にと顔を出す。樹々の下には青々と繁るジャノヒゲが。▼季節を告げる自然界。日ごとに延びる陽の光に、陽の明るさに、花や草、木の芽吹きに春を見る。▼未曾有の大災害となった東日本大震災から 10 年。生き残ったウメの木が花を付け、多くの人の励みになった事が脳裏をよぎる。どうか、希望の春となりますように。~佐伯区湯来町 2021・2月~



# —3月— 活動の予定

- 3月27日(土)  
【児童デイサービスゆうゆう木エクラフト】  
(広島市中区)
- 23日(火) 柱や梁材を鹿ヶ谷から軽トラ運搬  
(大竹市松が原)



- 日時：3月14日(第2日曜) 9時～
- 場所：「小川フィールド」  
安佐北区白木町中三田地区
- 作業：チェーンソー製材・椎茸の菌打ち  
竹炭製作の準備
- 持参品：水筒・弁当・山の道具
- 連絡先：岩田 080-5751-3798



- ～皆さまの参加お待ちしております～  
【材料制作】：安佐南区山本町鹿ヶ谷
- 6日(土)、13日(土)、20日(土) 27日(土)

\*\*\*\*\*

- 4月4日(日) 10時～東山本川の清掃活動  
(安佐南区祇園山本鹿ヶ谷)
- 【里山環境保全みどり会の方々と一緒に活動します】



■ 日時：3月8日(月) 18:30～20:30  
■ 場所：袋町交流プラザ  
■ 内容：環境勉強会(SDGsなど)、  
ロケットストーブ、  
テラスハウスの進捗状況確認  
環境教育に関心のある方は、  
どなたでも気楽にご参加下さい。  
Welcome!  
■ 連絡先：佐々木 綾子  
[mamakin0404@yahoo.co.jp](mailto:mamakin0404@yahoo.co.jp)



～ご協力ください!!～  
**書き損じのハガキ・切手を集めています。**  
住所を書き間違えたり、古くて使えなくなってしまったなど、投函されていない未使用ハガキや切手が寄付に代わり、貧困が加速する途上国の教育支援活動に活かされます。例会や部会時にお持ち下さい。取りまとめて支援団体へ送ります。世の中が大変な時だからこそ、未来を担う子どもたちのために《今》出来る事を！

- 4月号の会報発送作業は下記の通り、実施します。
- 日時：4月7日(水) 18:00～20:00
  - 場所：市民交流プラザ 3F



## 会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って人工林の間伐や都市公園の除伐整備など地域の人と一緒に活動を展開しています。また、会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用したクラフトの作成指導なども行っています。私たちの活動に共感、賛同して頂ける方のご寄付または会員として活動して頂ける方を募集しています。

**会員の種類** 【正会員】：倶楽部の目的に賛同して積極的に活動するために入会した個人及び団体。  
【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

**年会費** 【個人会費】：3,000円  
【企業会費】：50,000円

### お申込み方法

下記まで電話、又はメールで  
【電話】090-6419-7531  
【Email】[info@morimate-ch.com](mailto:info@morimate-ch.com)

**会費・ご寄付の振込先**  
【広島銀行 白島支店】(普) 3283383  
【ゆうちょ銀行】15170-18029291  
《口座名：特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》